

令和7年度 中学部のいのちの授業報告

一部を紹介します

9月25日(木)に助産師櫻井裕子先生による授業が行われました。今年度から中学部と高等部を分けて実施しています。今回女子が櫻井先生の授業を受ける計画のもと、事前打ち合わせから女子は体の部位の名前、尿道、膣、肛門の並び、体の清潔など、今回の授業につながる学習を2時間行いこの日を迎えました。

「生理について」学んだ1時間でした。

子宮に赤ちゃんが来ないと生理になるよというお話におおきな「へー!」の声。



赤ちゃんが来たら、赤ちゃんがおなかの中でお母さんから栄養をもらうためにおへそからつながっている「たいばん」になることを、赤ちゃん人形と胎盤、子宮を使って説明してもらいました。



思春期になると頭の中で指令が出て生理が始まります。赤ちゃんを産むか産まないかは本人が決めるけれど、準備はみんなに来ること、生理中に出る血は、給食の牛乳1パックよりも少ない量なので、量がざぶざぶ多いときは大人に助けてほしいとお話してほしいことなどを学びました。トイレに行った際の拭き方は、予習したところを復習もできました。生理用品の紹介もありました。ちょっと困ったとき、すごく困ったときに相談できる人を見つけておくことも大切とお話がありました。これからも繰り返して学習していきます。



授業後には、赤ちゃん人形を抱っこさせてもらいました。

男子の授業は教室で「体の清潔」について、お風呂の際の体の洗い方と大便時のお尻の拭き方に分かれて学習しました。お尻の拭き方の授業では、トイレトペーパーの必要量の取り方を学習した後、大きなビニール袋をはいて、模擬汚れを拭く練習をしました。お尻の様子を自分の前のテレビに映して汚れを確認しながら行いました。



第1回学校保健委員会報告

いのちの授業の後に学校保健委員会を行いました。本校保護者、市内特別支援学級保護者と教員、教育委員会指導主事が参加し、各学部の「こころとからだの授業」の取り組み紹介、助産師櫻井先生から包括的性教育についてのお話、グループでのおしゃべり会と、短い時間でみっちり内容の詰まった時間でした。



参加された保護者の感想より ご参加ありがとうございました!

「授業の実践がとても参考になりました」

「小学部の時から自分の体を知ることや清潔にすることをはじめとして、高等部になるまで知識を増やしながら、自分を守り相手を大切にすることを学ぶ授業なのだと思います」

「授業を受ける子供たちの真剣な様子も、たくさんの保護者の方に見てほしい」

次回は1月21日(水)に高等部のいのちの授業を行い、その後学校保健委員会を行います。一緒に学びましょう。聞くだけでも良いので、ぜひお気軽にご参加ください。

